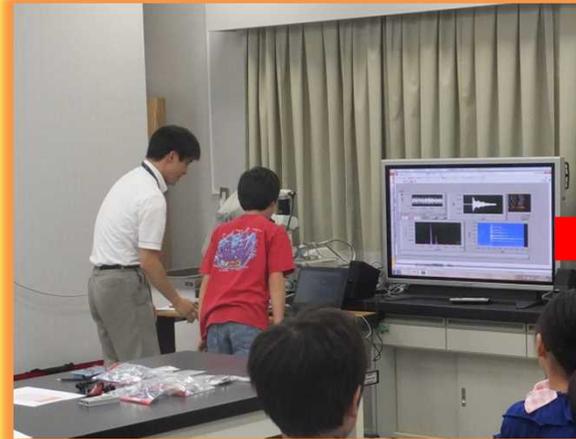


♪ 実験の一部をご紹介します ♪

第2回 7月5日(土)「探ろう“音色”のひみつ、創ろう新しい“音色”」講師：水谷 義弘先生 (東京工業大学)



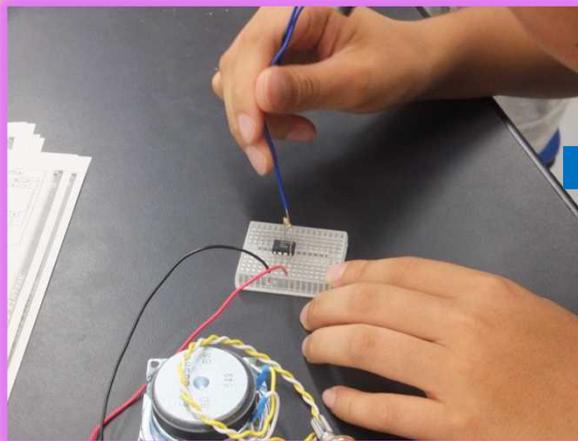
音のもととなる振動の不思議。モノにはそれぞれ、ゆれやすくなる振動があるそうです。大きな橋が波のように揺れる映像にはみんな驚きました。



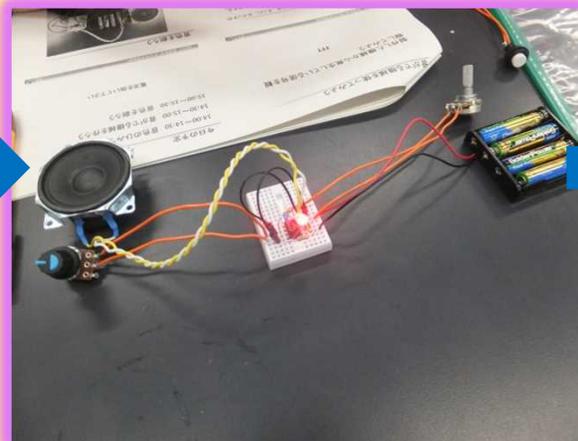
参加者がマイクに向かって「アーツ」と言ってみました。周波数を調べる装置で、いくつかの音が混ざっているか調べてみると・・・



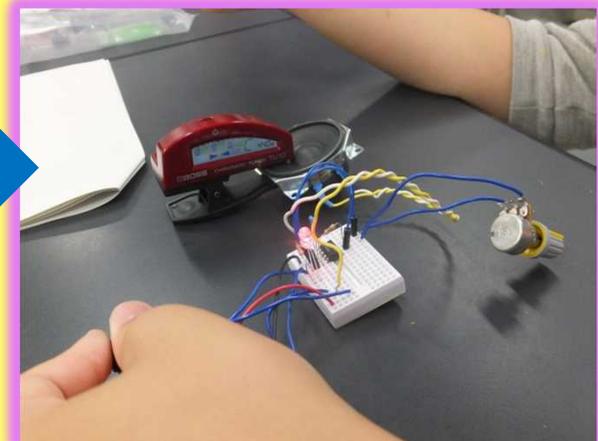
「アーツ」は、5つくらいの音からできていることがわかりました。



基板にICやスピーカー、電池、可変抵抗（ボリューム）などを取り付け、参加者一人一人が音の出る機械をつくってみました。



各部品に電気が通るようにするのは少し難しかったですが、無事に完成することができました。音を出しながらボリュームをまわすと、音が高くなったり低くなったりしました。



振動の数を測るチューナーという機械をスピーカーに取り付け、ボリュームを調節し、「ド」の音を調べました。他の音も探せば、みんなで演奏することもできます。